

令和2年4月27日

第78号

公益財団法人 川崎市シルバー人材センター 川崎市川崎区堤根34-15 ふれあいプラザかわさき1F TEL 044-222-6886 FAX 044-221-8516

シルバーかわさき

http://www.kawasaki-sc.or.jp/

令和元年度第3回定時理事会

3月26日(木)に第3回定時理事会が開催され、次の6議案について審議され、全会一致で承認・可決されました。

- ①「令和元年度第2次補正予算について」
②「第3期基本計画の策定について」
③「指定管理特定費用準備資金の積み立てについて」
④「北部事務所改修資金積立金の積み立てについて」
⑤「令和2年度事業計画及び収支予算の承認について」
⑥「令和2年度川崎信用金庫短期借入金契約について」

令和2年度事業計画

近時(3月12日)、財務省及び内閣府より公表された1~3月期の法人企業景気予測調査により、全規模・全産業ベースで「下降」超幅が拡大し、先行きについては、新たに台頭し世界で拡散している新型コロナウイルス感染症が国内外経済に、大きな影響をもたらしている状況です。



理事会の様子

川崎市においては、令和元年10月1日現在の60歳以上の人口は約38万4千人で、市総人口に占める割合は25%

%となり、65歳以上は、20%程度を占め、超高齢社会到来の基準値ともなる21%に迫る状況となっております。

少子高齢化の進展に伴う国内の生産年齢人口の減少による労働力不足は、シルバー人材センターの支柱でもあります。会員の増強や就業の場の拡大等に影響を与える予想されます。

このような状況下で、令和元年度は第2期基本計画の最終年度となることから、第3期基本計画の策定を行い、令和2年度は新たな基本計画の初年度として、事業推進を図るための多様な方策を尽くす等、積極的な対応を目指します。

加えて、「かわさき南部斎苑」及び「かわさき北部斎苑」につきましては、昨年度までの6年間に引き続き、令和2年度から改めて指定管理者に指定され、今後5年間、両斎苑の管理運営を行うこととなり、これまで以上に安全で安定的な葬祭場事業運営に努めてまいります。

なお、令和2年度は、次に掲げる基本方針により、会員及び役員が一体となつて積極的に事業を推進してまいります。

基本方針

公益目的事業―(シルバー人材センター事業)

- 1 会員の増強と育成
2 就業機会の拡大・受注開拓
3 安全・適正就業の徹底
4 事業推進体制の強化
5 第3期基本計画の推進及び事業計画目標の確かな進行管理

令和2年度 収支予算書

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減. It is divided into two main sections: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure). The total income is 1,307,017,000 and total expenditure is 1,679,959,000, resulting in a deficit of 372,942,000.

- 1 公益目的事業―(葬祭場運営事業)
2 公衆衛生の向上と公共葬祭場としての公平性の確保
3 質の高い市民サービスの提供
4 適正な業務の遂行と効率的な事業運営
5 かわさき北部斎苑及びかわさき南部斎苑の改修工事における安全管理運営

安全就業だより

令和元年度第2回 安全・適正就業委員会報告

令和元年度第2回安全・適正就業委員会が2月20日（木）に開催されました。議題①「令和2年度安全・適正就業実施計画」は承認されました。計画の重点項目は次のとおりです。

計画の重点項目

- 1 安全・適正就業の推進
 - ① 安全・適正就業委員会の活用
 - ② 事務所安全・適正就業対策会議の活用
 - ③ 安全・適正就業委員、対策委員及び会員の育成
 - ④ 安全・適正就業基準の徹底
- 2 安全意識向上の推進
 - ① 講習会・研修会の実施
 - ② 安全就業の啓発
 - ③ 健康管理の充実

議題②「事故発生状況（平成31年4月から令和2年1月）」では、平成30年度の事故件数と比較すると9件減少していると報告されました。



委員長からは、今年度事故件数は減少しているものの、当センターでは事故0を目標としていく。委員会と事務所対策会議で、事故をなくすため、会員への積極的な声かけや現場巡回を行うこととの要請がありました。また、会員個人の安全意識も必要不可欠だとしています。

令和2年度「安全就業標語」を募集します

シルバー事業に係る会員の就業中及び就業途上の事故の未然防止と安全就業の推進につながる「安全就業標語」を募集します。奮って応募ください。

応募方法

事務所備え付けの応募用紙に住所・氏名・電話番号等必要事項を記入の上、郵送、FAXまたは各事務所に御持参ください。

- ※①応募は一人一作品です。
- ②自作のもので、未発表のもの

締切り

令和2年5月29日（金）

宛先

〒210-0026 川崎区堤根34-15
川崎市シルバー人材センター 経営課
FAX 044-221-8516

選考の結果、採用された方には記念品を贈呈いたします。



◇令和元年12月～令和2年2月 主な事故発生状況

1 傷害事故

No.	区分	事故発生日	仕事の内容	年齢	性別	事務所	事故状況
1	就業中	12月9日	軽作業	77	女	北部	入居者との傾聴時、介護職の職員（施設側）が一時的に現場を離れた際に入居者が車椅子から転倒。転倒状態から体勢を変えようと会員が手助けしたところ、腰を負傷。整形外科を受診し、圧迫骨折と診断された。
2	就業中	12月21日	清掃作業	79	男	北部	屋外にある木の周囲を清掃中、中腰状態から立った途端、木の枝が右目に刺さった。痛みが強かったため、病院を受診し、3週間程度の治療が必要と診断された。

2 賠償事故

No.	区分	事故発生日	仕事の内容	年齢	性別	事務所	事故状況
1	就業中	12月1日	清掃作業	72	男	南部	ショッピングセンター内にて清掃のため、側溝蓋および排水桝（1辺約40cm）を外して作業していたところ、同ショッピングセンター内テナントの従業員が、気づかずに排水桝に右足を落とし、右下肢捻挫・打撲を負った。
2	就業中	1月16日	清掃作業	75	男	南部	就業先にてごみをまとめごみ袋に入れていたとき、ズボンのポケットに入っていたティッシュペーパー等のごみを併せて捨てた際に、同ポケットに入っていた管理室の鍵も誤って捨ててしまった。その後、作業を終え管理室に戻った時に鍵の紛失に気付き、ごみ集積場戻ったが、ごみ収集車によりごみが回収された後だった。
3	就業中	1月22日	家事援助	72	女	北部	家事援助の就業をしていた際に布団カバーの取替等の作業をしていて、床に置いてあったテーブルランプを誤って倒し、傘の部分を割ってしまった。
4	就業中	1月30日	家事援助	72	女	南部	リビング室内で掃除機をかけていた時にソファに踏き、そばにあった棚に手をついた。その拍子に、棚の上にあった時計が床に落ち、ガラスが割れ、内側から止めてあった木切れの一部が外れてしまった。

就業途上に第三者の財物を壊した場合や身体を傷つけた場合（賠償事故）は、シルバー保険の対象外です。自転車の運転者である会員が賠償を含めた責任を負うこととなります。事故を越さないよう最大限の注意を図り、自転車賠償保険に加入しましょう。

★新型コロナウイルス感染症に係る情報は日々更新されています。新聞などの報道をよく確認し、噂や誤報に惑わされないよう気をつけてください。

新型コロナウイルスに感染しないようにするために

(出典：首相官邸HPより)

まずは、一般的な感染症対策や健康管理を心がけてください。

具体的には、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒などを行い、できる限り混雑した場所を避けてください。また、十分な睡眠をとっていただくことも重要です。

また、人込みの多い場所は避けてください。屋内でお互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごすときはご注意ください。

(1) 手洗い

ドアノブや電車のつり革など様々なものにふれることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性がありますので、外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。

(2) 普段の健康管理

普段から、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきます。

(3) 適度な湿度を保つ

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度（50～60％）を保ちます。

熱中症の予防について

熱中症のピークは7月から8月です。特に65歳以上の高齢者が多く発症しています。

【熱中症の症状】

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
- 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う



重症になると、

- 返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い
- 就業する作業環境の把握と、普段からの体調管理に留意し、熱中症の予防対策に努めましょう。

- 「睡眠と休養」をしっかりとりましょう。
- 「十分な水分と適度な塩分」「経口補水液」を摂取しましょう。
- 屋外では帽子をかぶり、直射日光は避けましょう。また、熱を吸収しやすい服装は避けるようにしましょう。
- 通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する。保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす。
- 体調が優れない場合は無理をせず、木陰などで休むようにしましょう。
- 複数の会員で仕事をする場合は、声をかけあい、お互いに健康管理を心がけましょう。

～熱中症の応急手当～

日陰など涼しい場所へ移動し、衣服をゆるめ、うちわ等の風で体を冷やし、安静にして、水分を補給してください。脇の下、太もものつけねを冷やすのも効果的です。自分で水が飲めない、強い倦怠感や痙攣で動けない場合は熱中症の疑いがあることから、ためわらず医療機関へかかりましょう。

室内でも発症する場合がありますので、夏期の節電を意識しすぎるあまり、健康を害することのないようご注意ください。

事務所だより

★南部事務所

☎2222-1550

★安全・適正就業対策・巡回指導

令和2年3月13日(金)

川崎区内にある商店街の清掃業務を対象に巡回指導を実施しました。2名の会員が商店街全体の清掃作業及び駐輪禁止看板の設置・片付け等を行っていました。

作業を円滑に進められるように、使用する道具類は整理整頓されている

とともに、落ちてい
る空き
缶・ペッ
トボトル
等を通常
のゴミと
分別する
ために、
ちりとり
に自作の
空き缶入
れを追加



巡回指導の様子

するなど工夫されていきました。

また、商店街を行き交う自転車及び歩行者に接触しないよう周囲に気を配りながら清掃作業をするなど、会員一人一人の安全就業に対する意識の高さが増えました。

今後も安全に留意して作業されるようお願いしました。

★家事援助・育児支援懇談会

令和2年2月26日(水)

出席会員13名

懇談会には、ベテラン会員の他、最近就業を始めた会員にも出席していただきました。

職員からは家事援助・育児支援について、次のような最近の傾向を説明させていただきました。

- ①家事援助については、高齢の発注者の場合、健康面の変動が多く就業日がお休みになったり、就業時間が短めになる傾向があること。若い発注者のご家庭では、清掃の前に片付けから始める場合も多く、就業時間が長くなる傾向があること。また、調理については作り置きへの希望が増えていること。
- ②育児支援については、子供自身の性格の他、ご両親の教育方針も就業に際して大事な要素になること。

また、会員からは、楽しく働けるといふ声もいただきましたが、一方でお客様との調整が難しい場合も少なからずあるといった意見もいただきました。こうした場合には、遠慮なく職員に相談していただければと思います。

◎中部事務所

☎8222-5031

◎安全・適正就業対策会議・巡回指導

令和2年2月26日(水)

中部事務所の会議室において「令和元年度第2回中部事務所安全・適正就業対策会議」が委員・対策員出席のもと開催されました。会議において、一、令和元年度の事故発生状況、二、令和2年度の安全・適正就業実施計画、三、令和2年度の安全就業標語の募集等、資料に基づき説明を行いました。

昨年度、除草作業中の飛び石による事故があ



安全・適正就業対策会議及び巡回の様子

り、その事を含め11月に除草作業現場の巡回を実施したため「飛び石による事故が0件になったことは大変喜ばしい」という意見をいただきました。

また2月18日、会員が就業現場で事故や怪我を防止し、安全・適正に就業しているか確認するため、委員・対策員、職員で高津区久地にあるマンシヨンの清掃現場の巡回を実施しました。現場に赴いて、作業する会員が安全に作業を行っているか確認するとともに、作業内容について質問を行い、安全に対する意識を再度認識していただくようお願いしました。

◎第3回中部事務所地域班連絡会議

令和2年2月14日(金)

中部事務所の会議室において「令和元年度第3回中部事務所地域班連絡会議」が各地区の班長及び副班長出席のもと開催されました。議題とし



地域班連絡会議の様子

て、令和元年度の中部事務所の活動実施状況を報告するとともに、2月に実施するセンターのチラシの配布活動の説明を行い、会員募集のチラシの配布を依頼し、センターの普及啓発にご協力をお願いしました。また会議では、会員の就業率等に関し意見が出たため、センターの現状について説明を行いました。

◆北部事務所

☎980-0131

◆事務所安全・適正就業対策会議

令和2年2月28日(金)

北部事務所会議室にて、第2回事務所安全・適正就業対策会議を行いました。今回は、

①本年度に川崎市内で起きた事故発生状況の報告、②事故の分析に重点を置き、再発防止



安全・適正就業対策会議の様子

と安全就業に向けた協議を行いました。また、次年度に向けた事故減少対策について積極的な意見交換が行われ、有意義な会議の場となりました。

◆事務所地域班連絡会議

令和2年2月28日(金)

北部事務所管内地域班の班長及び副班長が集まり、第2回事務所地域班連絡会議を実施しました。

今回は、①本年度の地域班活動総括、②センターの近況報告を行い、意見交換を行いました。また、次年度の事業実施計画について協議を行い、センターの広報活動を推進していくことを決定しました。



地域班連絡会議の様子

会報編集委員による取材

かわさき北部斎苑でも
シルバー会員が働いています

「夕方からの斎苑の仕事を」

JR南武線「津田山」駅より徒歩7分の「かわさき北部斎苑」。黒のスーツを着た高野さんを取材させていただきました。

高野敬二さんは3年前からこちらで働いていらつしやいます。3人の方でローテーションを組みながら、1日の就業時間は16時から20時までの4



高野会員

時間。会葬者の式場案内、問い合わせの電話への対応、苑内の見回りなどをなさっているそうです。

「会葬者を式場へ案内するのが主な仕事」

どんなお仕事をなさっているのか、もう少し詳しく伺ってみました。

メインのお仕事は会葬者の案内とのこと。夕方からの斎苑には、お通夜に参列するために車や徒歩で多くの方がやって来ます。高野さんは、歩いてきた会葬者を式場へと案内します。自分も経験があります。斎苑は広いうえにいくつも式場があるので、どこへ行けばいいのか迷ってしまいます。こんなとき、高野さんのような案内人がいると助かりますよね。場所柄、笑顔はなじまないがむつつりでもなく、優しく丁寧に対応するように

しているとのこと。

電話への対応は、職員が電話対応を終了する5時以降からです。通夜の時間の確認や斎苑への行き方など、いろいろな問い合わせがあるそうです。ペットの火葬の問い合わせなどもあったと話されていました。各式場の葬儀が終わって人がいなくなる、式場の窓閉め、照明や空調のスイッチの確認、戸締りなどを確認しながら、苑内を見回ります。

「ベテラン会員さんの5つの仕事」

高野さんはシルバー人材センターに入会して15年、表彰もされたベテラン会員です。60歳の定年後は囲碁や将棋も習ったが、健康のためにも社会の一員として体を動かしたほうがいいと思ったそうです。すぐに登録したとおっしゃっていました。そして、マンシヨンの清掃やビラ配り、デイサービスでの車の送迎などの仕事を経て、今の仕事に至ったそうです。ずっと働き続けていらつしやるんですね。

「人とのつながりが学べて勉強になる」

「今のお仕事はどうですか。」と伺ってみると、「外の人とのつながりが学べて勉強になる。」と答えてくださいました。元々は技術畑のお仕事をなさっており、営業ではないので人とのやり取りは得意ではないとのこと。斎苑にはいろいろの人が来るし、気の立った人などとも対応しなければなりません。車の整理をする警備の人たちとも連携しながら対応しているが、時にはうまくいかずに慰め合うこともあるのだそうです。

「パソコンも活用して」

ローテーションを組む3人の方々とは前もって集まり、日取りを打ち合わせます。それを高野さ



就業中の様子

んが自分でパソコンに打ち込んで表にまとめます。パソコンは、町内会での仕事の使ったりご自分の血圧の管理に使ったりと、

日常的に活用されているとのこと。これからもますますお元気で頑張ってくださいたいと思ひながら失礼しました。

会報編集委員 平井 典子

配分金支払日

4月分から6月分の配分金支払日は次のとおりとなっております。

4月分	5月25日(月)
5月分	6月25日(木)
6月分	7月27日(月)

※配分金は月末締め翌月25日支払(金融機関が休日の場合は翌営業日)に指定された口座へ支払います。

人事異動

【退任】(3月31日)

- 次長 福井 和彦
- 北部事務所長 榎本 実
- 北部事務所 鍋田 陽子

【新任】(4月1日)

- 次長 山田 秀幸
- 北部事務所 榎本 実
- 北部事務所 富田 正也

【異動】(4月1日)

- 北部事務所長 市川 賢司
(参事・南部事務所長兼務)
- 北部事務所副所長 宮田 博章
(前北部事務所主査)